2021年度事業計画

2021年3月

福岡国際空港株式会社
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

1. 取組方針及び目標値

FIAC
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

取組方針

- 空港施設内における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策及び国と連携した水際対策の徹底に努め、2021年3月に取得したAHAプログラム認証※を踏まえ、**お客さまが安心して福岡空港をご利用頂ける環境を整備**します。
- コロナ禍に関わらず、エアラインセールスを継続的に実施し、2020年夏ダイヤ以降に増枠となった発着枠（38回/時間）を最大限活用し、**就航路線の復便に加え、航空ネットワークの拡充**に取組みます。
- 国内線/国際線地区の開発においては、コロナ禍による社会環境や消費動向の変化、感染症を踏まえ、インバウンドや航空機利用以外のお客さまにも、**魅力ある施設開発計画を推進**します。
- 福岡空港の持続的な発展に向け、**空港周辺住民・地域のご要望に応じた地域共生事業**を推進します。
- 既存の事業構造の見直しや業務効率化を図る事で、新たな収益源の確保や経費削減による営業キャッシュフローの改善を行い、**より筋肉質な経営体質**を目指します。

旅客数（2021年度）

国内線	1,230万人
国際線	100万人
合計	1,330万人

貨物取扱量（2021年度）

国内線	17万トン
国際線	2万トン
合計	19万トン

財務指標（2021年度）

営業収益 （内、空港運営事業）	222億円 （65億円）
営業費用 （運営権償却費を含む）	319億円
営業利益	▲96億円
当期純利益	▲171億円

受領したAHAプログラム

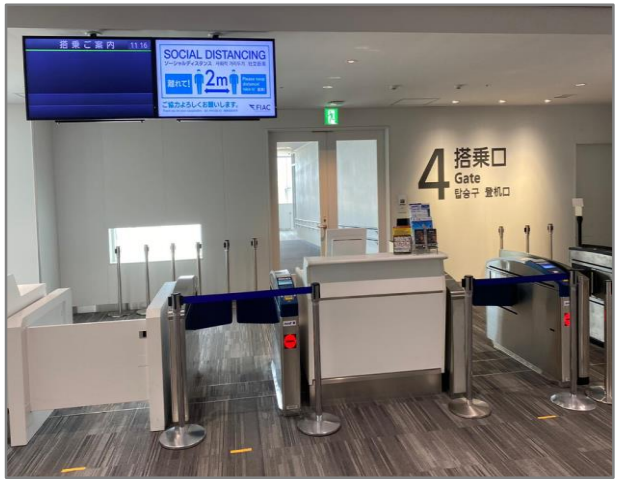
※AHA(Airport Health Accreditation)プログラム認証とは、国際空港評議会(ACI)が各空港における感染症防止対策に対して、国際民間航空機関(ICAO)の推奨する基準との整合性を評価するもので福岡空港は2021年3月に西日本の空港で初めて認証を取得。

2. 感染拡大防止対策の推進

FIAC
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

旅客ビル出入口での消毒液設置・
ポスター掲出によるマスク着用等の要請

案内所や免税店舗等での飛沫防止シートの設置



搭乗ゲートのデジタルサイネージによる
ソーシャルディスタンスの要請

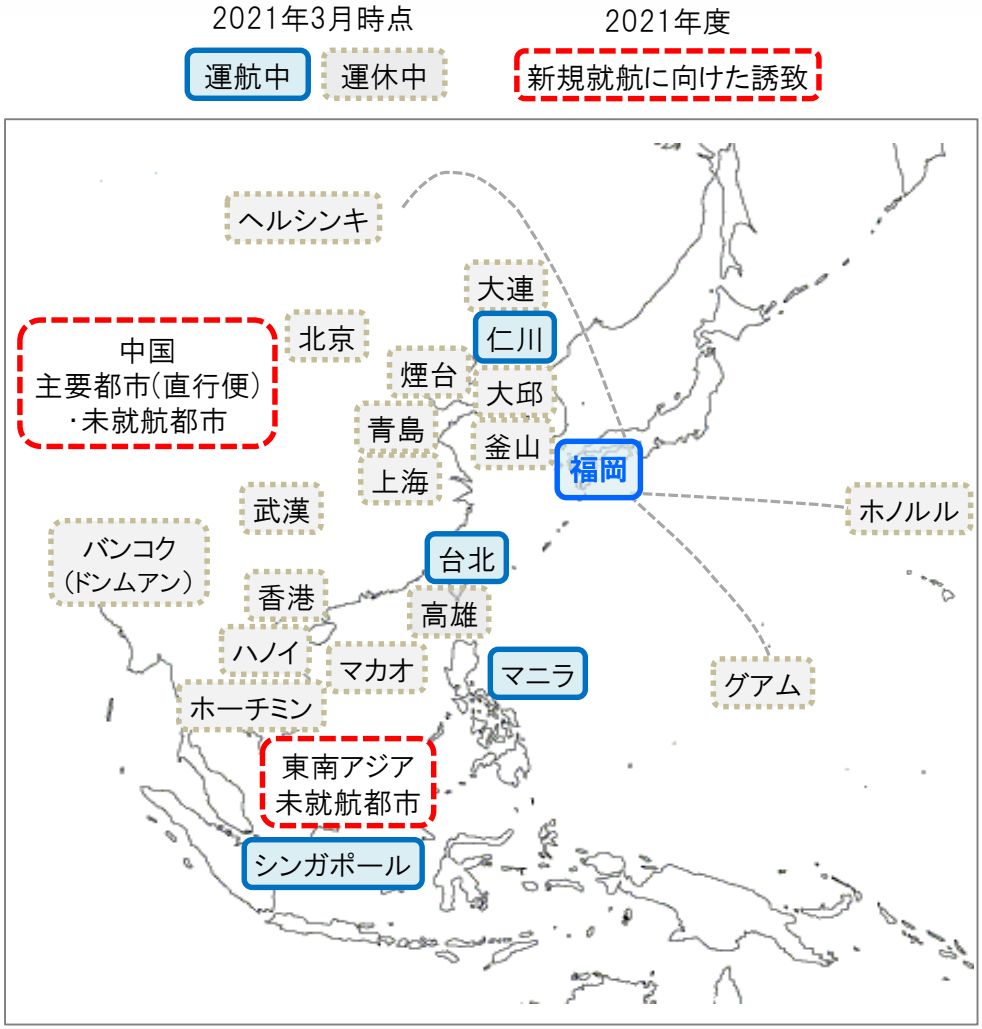
出発・到着ロビーでの待合座席の利用制限

保安検査場やチェックインカウンターでの
ソーシャルディスタンス用マーキングの設置

3. 就航路線の復便、航空ネットワークの拡充

FIAC
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

- コロナ禍に於いても、国内外エアラインからは旺盛な就航リクエストが有る環境下で、発着枠（38回／時間）を最大限活用し、復便・路線拡充に注力
  - ➢ 政府による水際対策に応じた受入環境の整備（検査待機場所の提供等）
  - ➢ 運休路線の復便、中国や東南アジアの新規路線の就航実現、及び更なる路線網拡充に向けた誘致活動の継続
  - ➢ 行政及び観光推進団体等との連携を通じたインバウンド、アウトバウンドの需要喚起の推進
- エアライン就航の際の効率運用に向けたグランドハンドリング資機材共用化の推進



トーイングカー（JAL/ANAの共用）

トーイングカーとは、駐機スポットからの後退時や空港内の移動の際に、機体を所定の位置まで牽引する作業車を指す。2021年3月現在、JAL/ANAが共用で使用しているのは福岡空港のみであり、今後、他航空会社との共用や、他グランドハンドリング資機材の共用化を推進していく。

4-1. 魅力ある施設開発計画の推進

FIAC
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

エアポートシティの実現

- 国際線地区
  - ➢ 将来の旅客増加に備えた旅客ビル施設の拡張、及びスポット整備の推進
  - ➢ インバウンドのニーズに応じた魅力的な海外ブランド候補との出店協議

出所：株式会社船場

国際線3階免税店（イメージ）

- 国内線地区
  - ➢ 福岡・九州から航空機利用以外のお客さまを多く呼び寄せる複合施設開発計画（フロア構成、テナント配置計画等）の推進
  - ➢ 魅力的なテナント候補との出店協議
  - ➢ 複合施設の供用を見据え、“福岡空港＝気軽に立ち寄り楽しめる場所”としてのマインド醸成につながる施策の推進
- 国内線／国際線地区（共通）
  - ➢ 航空旅客に依存せず、航空機利用以外のお客さまを呼び込む収益モデルの推進
  - ➢ 駐車場(国内線 約1,600台、国際線(1期) 約1,200台)の整備・運用計画の策定

4-2. 魅力ある施設開発計画の推進

FIAC
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

旅客サービス・利便性の向上

（※利便性向上に関する施策の基本的な考え方：Free『楽に』Fast『早く』Fun『楽しく』）

- 国内線/国際線地区：お客さまが安心してご利用頂ける空港施設の提供

Fun ➢ コロナウイルス感染拡大防止に配慮した上での、航空機利用以外のお客さまの集客促進、売上増加施策の実施

- 国内線/国際線地区：利便性向上施策の推進及び受入環境の整備

Free ➢ 国際線旅客ビル施設（増築）（1,600万人対応）、及び複合施設の整備に向けた設計の推進

Fast ➢ 内際連絡道路の専用道路化（片道15分を5分に短縮）に向けた先行工事実施

Free ➢ 内際連絡バスに「連節バス」を導入し、輸送力を増強

- 5スターエアポート獲得（2025）に向けたCS活動の推進

Fun ➢ 空港事業者全体を対象に、2020年度に策定したCSスローガン「いつも、思い出のそばに」の定着、及び空港従事者の接客スキル向上

Fun ➢ 空港事業者全体でのお見送り活動※等の取組みを推進

※お客さまに選んで頂ける魅力のある空港（笑顔と感動を届ける空港）を目指し、2020年度から空港全体での組織体として、「TEAM FUK CS推進タスクフォース」を結成。活動の第1弾として、航空会社間の垣根を超えた「お見送りプロジェクト」を実施。

5. 安全に関する取組み、6. 地域共生事業

FIAC
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

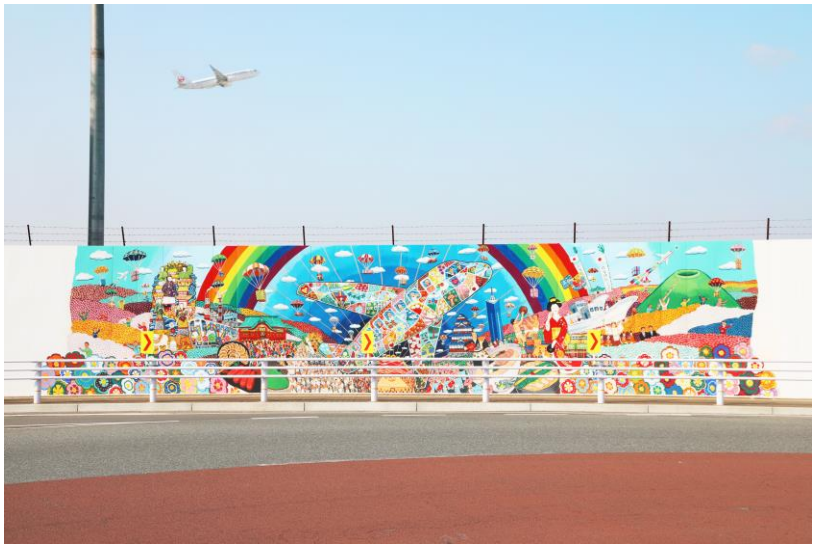
安全・保安の強化

- 福岡空港と奈多ヘリポートの一体的安定運用
- 大規模自然災害、パンデミックへの対策強化、空港事業継続計画(A2-BCP)の充実
- コロナ禍においても空港基本施設(滑走路、エプロン等)の着実な機能維持
- 空港運営業務の内製化(要員育成、教育訓練等)の推進
- 新技術の導入等による業務の効率化・省力化の推進

奈多ヘリポート

地域共生事業の推進

- 地域団体・周辺地域のご要望に応じ、環境変化、時代の潮流にあわせた地域共生事業の推進(小学校の英語教育におけるICT機材の活用、「Over the world」※制作の場の提供 等)
- 地元行事など地域活動への積極的な参加



壁画

※アーティスト ミヤザキケンスケ氏と協働で、席田小学校児童の卒業制作として壁画を企画

7. 北九州空港との連携、8. 設備投資

FIAC
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

福岡県の空港の将来構想の実現に係る協力方針

- 24時間利用可能な空港、発着枠に余裕がある北九州空港の特性を活かし、
  - 北九州空港への貨物便の増便・誘致
  - 北九州空港と一体となり、福岡のプロモーション活動を推進

設備投資

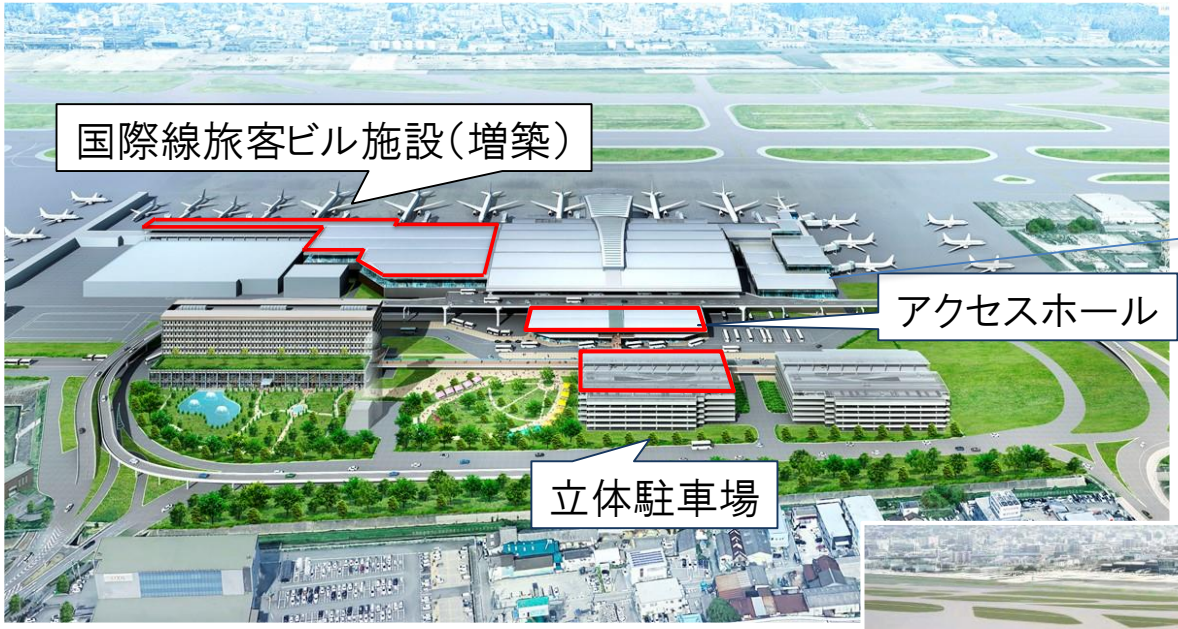
- **空港活性化を目的とする設備投資：約13億円**
  - 国内線：複合施設の設計
  - 国際線：旅客ビル施設(増築)整備の設計、
    先行工事(飛行場灯台の移設、エプロン照明灯設置等)
  - 内際連絡道路：専用道路化に向けた先行工事
- **空港機能維持を目的とする設備投資他：約4億円**
  - 空港基本施設の維持管理
  - 旅客ビル施設に関する修繕・更新 他

出所：梓設計・HOK・西日本技術開発共同企業体

国際線地区外観(イメージ)

9. 施設整備スケジュール(2021年3月現在)

FIAC
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.



国際線 施設整備(イメージ)

・旅客ビル施設(増築)
・アクセスホール
竣工:2024年度
・立体駐車場1期
竣工:2022年度

・複合施設
竣工:2025年度
・立体駐車場
竣工:2023年度

出所:梓設計・隈研吾建築都市設計事務所・西日本技術開発共同企業体

国内線 複合施設・立体駐車場(イメージ)